

Cブロック石川から、日々の利用者さんの支援についてご紹介します。

現在、Cブロックでは札幌市自閉症・発達障がい支援センター「おがる」さんにコンサルテーションをお願いしながら、とある方の支援に取り組んでいます。

突然ですが、皆さんは勉強部屋と寝室が一緒だと「勉強に身が入らない！」という経験をしたことはおありでしょうか？

勉強をしようと意気込んで机に向かうつもりが、ついついベッドに入って寝てしまい、一度もペンに触れることなく朝を迎えてしまうという一連の流れは、私の学生時代の日常でした。

利用者の皆様が日々取り組んでいらっしゃるトレーニングも、日々を過ごす中で簡単にできる内容のものもあれば、「ちょっとこれは気合を入れて集中しないと難しいぞ」という内容のものもあります。

後者の場合、住み慣れた場所でやろうとしても、どうしても気が散ってしまったり、気が緩んでしまったり、ついついつも習慣を優先させてしまったりして身が入らないものです。

「ベッド」という誘惑のある部屋よりも、静かな図書館の方が勉強も捗りますよね。

そこで、今回は「いつもと違う場所で、日常を忘れて、じっくりと練習に集中する」という趣旨での支援の風景をご覧ください。

写真でご紹介している支援は、「タイムログ」という支援ツールを使って、「時間の終わりを理解する練習」です。

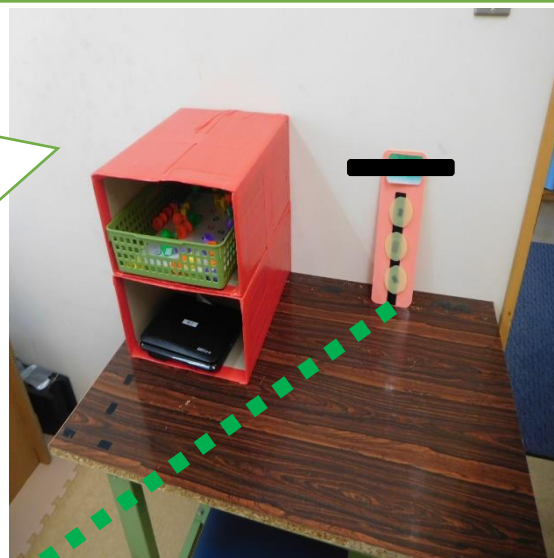
こちらが練習専用のお部屋です。

いつもの居室やデイルームとは違う、非日常を味わえる空間になっています。

程よい緊張感で練習に臨めます。

赤いボックスの中には自立課題と、DVDプレイヤーが入っています。

上から順に取り組んでいきます。



まるいカードが少しずつ減っていきます。

カードがぜんぶなくなったら、お楽しみ時間はおしまいです。

時計がよめなくても、時間の経過がわかりますね。